

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】令和6年4月2日(2024.4.2)

【公開番号】特開2021-176145(P2021-176145A)

【公開日】令和3年11月4日(2021.11.4)

【年通号数】公開・登録公報2021-054

【出願番号】特願2021-58368(P2021-58368)

【国際特許分類】

H 05 B 33/02(2006.01)

10

G 02 B 5/30(2006.01)

H 10 K 59/10(2023.01)

H 10 K 50/10(2023.01)

B 32 B 7/023(2019.01)

B 32 B 17/06(2006.01)

G 09 F 9/00(2006.01)

G 09 F 9/30(2006.01)

【F I】

H 05 B 33/02

20

G 02 B 5/30

H 01 L 27/32

H 05 B 33/14 A

B 32 B 7/023

B 32 B 17/06

G 09 F 9/00 3 1 3

G 09 F 9/00 3 0 2

G 09 F 9/00 3 6 6 A

G 09 F 9/30 3 6 5

G 09 F 9/30 3 4 9 E

G 09 F 9/30 3 0 8 Z

30

【手続補正書】

【提出日】令和6年3月25日(2024.3.25)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

厚さが10～100μmである第1ガラス板と、偏光板と、タッチセンサー層と、該タッチセンサー層の上部全体又は下部全体に積層された厚さが10～100μmである第2ガラス板とを有し、

該第1ガラス板と、該偏光板と、該タッチセンサー層とをこの順に有する、フレキシブル積層体。

【請求項2】

厚さが200～500μmである、前記請求項1に記載のフレキシブル積層体。

【請求項3】

有機EL表示装置用である、前記請求項1又は2に記載のフレキシブル積層体。

【請求項4】

40

50

有機 E L 層と、該有機 E L 層の視認される側に積層された前記請求項 1 ~ 3 のいずれか一項に記載のフレキシブル積層体とを有する、有機 E L 表示装置。

【請求項 5】

前記偏光板を基準にして第 1 ガラス板を内側にして、屈曲半径 3 m m にて 1 8 0 ° 屈曲させては伸ばす操作を 1 0 万回繰り返し行った場合に、第 1 ガラス板に割れ又は破断が生じない耐屈曲性を有する、請求項 4 に記載の有機 E L 表示装置。

10

20

30

40

50